
げに悲しきは…

ラズライト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

げに悲しきは…

【著者名】

NZノード

【作者名】 ラズライト

【あらすじ】

ある2人のサラリーマンの会話。

本当に悲しいのは・・・

くだらない短編ですが、読んでもうえるとありがたいです。

とある日の夜。

なんと言つ事はない一軒の居酒屋に仕事帰りだと思われる2人のサラリーマンが飲みに来ていた。

1人は中年と言つに相応しい風体で、もう一人はまだ若い青年である。

2人は上司と部下のようで仕事の話をしたり、愚痴をこぼしたりと取り留めの無い話を続けた。

しばらく後、ふと中年の男が深いため息を一つ。

「どうかしたんですか？」

青年は気になつて尋ねる。

「いや、ちょっとした考え方だ。」

「考え方？」

「つむ。たとえ俺が総理大臣になつたとしても、日本で一番偉いのは俺じゃないんだなあ、と思ってな。」

いくらか酔いが回つてきているのだろうか。

意味がよくわからない事を言い出した。

青年のほうも困惑していたようだがとりあえず話題に乗つて、

「黒幕がいるとかそんな話ですかね？」
と聞く。

中年は首を振りながら答える。

「いやいや、そんなんじゃねえよ。」

「じゃあ、なんなんですか？」

青年はますます困惑したらしく、更に聞いてみたところ、

「そりやお前あれだよ、あれ。」

「あれ、ですか？」

「そりゃだ。つまりだな・・・」

一田言葉を切り、どこか自重するような笑みを浮かべた男は言つた。

「俺にはカミさんは亭主の地位なり。」

げに悲しきは亭主の地位なり・・・

(後書き)

つまるところ・・・
本当に偉いのは総理大臣じゃなくて総理大臣の妻なんだよ!
な、なんだってー?!

・・・えー、

どうも始めてまして。
ラズライトです。

読んでくださった方々、どうもありがとうございます
なんだかよくわかりませんが、とても書いてみたくなったので思い
つきの短編を投稿してみました。

ここで言いたいことが一つ。

決してナンダツテーがしてみたかったわけではありません、ええ。
そんなことは断じてないのです。無いったら無いのです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6265u/>

げに悲しきは…

2011年10月9日09時21分発行